



伊賀猪田発電所（三重県伊賀市）

第35期第2四半期 株主通信

（2024年10月1日から2025年3月31日まで）

Business Letter

証券コード 9446



株式会社
サカイホールディングス



代表取締役社長 朝田康二郎

健全で透明性の高い企業グループを 追求し、企業価値の最大化および 株主還元の拡充に努めてまいります

拝啓

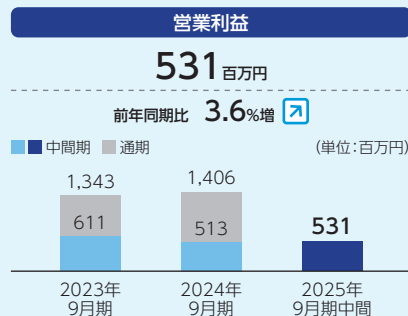
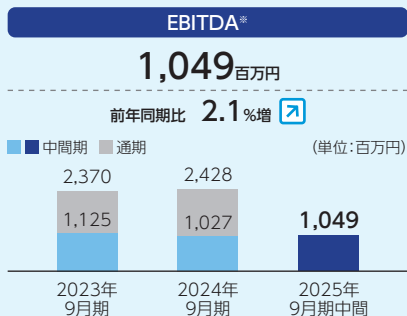
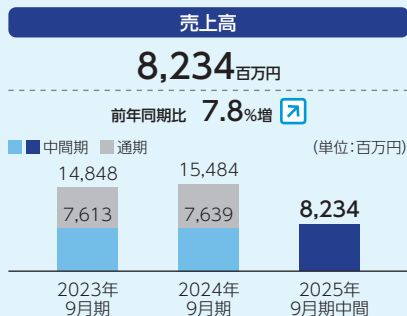
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第35期第2四半期(2024年10月1日から2025年3月31日まで)の業績についてご報告申し上げます。

経営環境と業績概要

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、GDP成長率の下方修正が入ったものの、修正は小さく、景気は緩やかに持ち直しつつあります。また、賃金や雇用情勢の改善が続くなど個人消費を取り巻く環境は決して悪くないものの、物価高の影響もあり消費支出の低迷が続く懸念が残り、依然として先行きは不透明な状況が続いております。このような環境下、当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

- ・売上高：8,234百万円(前年同期比7.8%増)
- ・営業利益：531百万円(前年同期比3.6%増)
- ・経常利益：474百万円(前年同期比1.5%減)
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：304百万円(前年同期比8.0%減)

Performance Highlights / 業績ハイライト



事業別の取り組みと成果

(再生可能エネルギー事業)

政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」や「エネルギー基本計画」など、再生可能エネルギー導入に対する支援姿勢は継続しており、国内の再生可能エネルギー市場に対するニーズは今後も拡大していく見込みです。当社グループが全国15ヶ所で運営する太陽光発電所は、安定稼働を維持しておりますが、一部地域においては電力需給バランスに伴う出力制御の回数増加や対象地域の拡大により、売上が減少傾向にあります。今後は、系統向け蓄電池への投資や既存太陽光発電所への蓄電システムの導入など、将来の収益確保に向けた取り組みを強化してまいります。

(移動体通信機器販売関連事業)

電気通信事業法改正などの影響により、買い替えサイクルが長期化する事業環境のなか、販売台数増加と顧客満足度向上に注力しました。また、アドレスなどのデータ移行や保護フィルム貼りなど、有償で提供するサポートサービスの拡充や外販強化により、売上高は増加しております。

(保険代理店事業)

医療保険などの第三分野商品が堅調に推移し、現在の主力販売商品となっています。効率的な営業活動と経費削減の取り組みにより、売上高は前年並みを維持いたしました。今期は通信システムの刷新、採用活動の拡大への投資を行っております。今後は、中長期的に収益性の高い保険商品へのシフトや新規顧客の開拓に注力するとともに、人材確保・育成にも力を入れてまいります。

(葬祭事業)

世帯人数の減少などにより、葬儀の小規模化が定着しつつあり、当事業は厳しい事業環境に直面しております。このような状況のなか、当事業では、地域に密着した効率的な運営体制を構築するとともに、お客様の多様なニーズに対応したきめ細やかな料金プランを設定しております。さらに、搬送業務や接客要員における一部業務の内製化を進めることで、業務運営の効率化を図ってまいりました。これらの取り組みにより、依然として厳しい事業環境ではあるものの、売上高および営業利益は前年並みの水準を確保いたしました。

(ビジネスソリューション事業)

DXの進展に伴い中小企業におけるスマートフォン需要が高まるなか、営業力強化のため、営業部員の増員や営業エリアの静岡県への拡大などを推進しました。また、自社サービス「SKIモバイルサポート」の販売が好調に推移し、大幅な増収増益を達成いたしました。今後も営業人員の拡大、取り扱い商材の拡充を図ってまいります。

今後の展望

当社グループは、事業の選択と集中を一層推進し、成長分野への積極的な投資と経営資源の最適配分に努めてまいります。また、引き続きコンプライアンス体制および内部統制システムの強化を図り、経営の透明性と健全性の向上に取り組んでまいります。今後も、社会や市場の変化に柔軟に対応し、新たな事業への展開を進め、企業価値の向上と株主還元の拡充に努めてまいります。株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

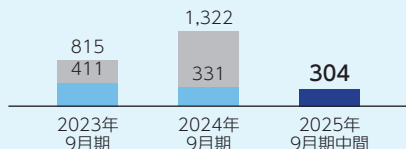
敬具

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

304百万円

前年同期比 8.0%減

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



2025年9月期業績予想

売上高

15,037百万円

(前年同期比2.9%減)

EBITDA*

2,197百万円

(前年同期比9.5%減)

営業利益

1,160百万円

(前年同期比17.5%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

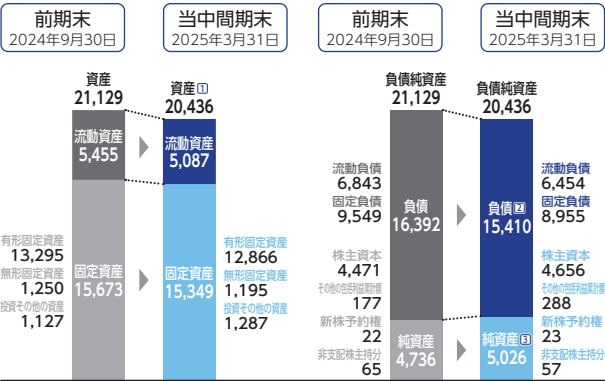
664百万円

(前年同期比49.7%減)

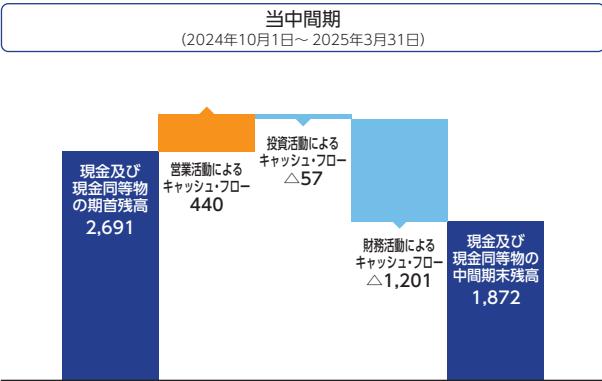
※ EBITDA: 「営業利益+減価償却費+のれん償却額」で算出する事業が生み出すキャッシュ・フロー

Consolidated Financial Data / 連結財務データ

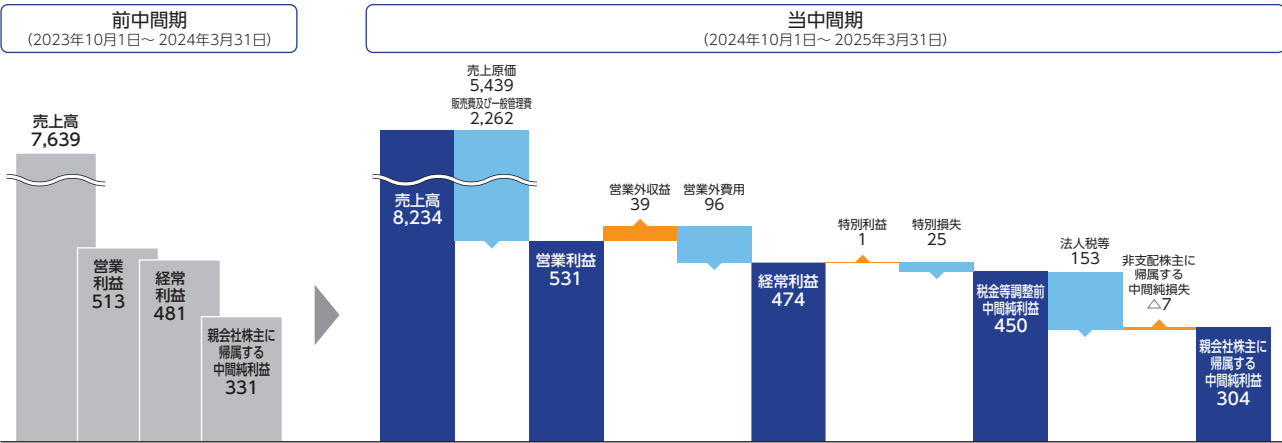
■ 中間連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 中間連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



解説 ① 当中間連結会計期間末の資産合計は20,436百万円となり、前連結会計年度末の資産合計21,129百万円と比べ692百万円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産が354百万円、投資その他の資産が160百万円増加した一方で、現金及び預金が818百万円、有形固定資産が429百万円減少したことなどによるものです。

解説 ② 当中間連結会計期間末の負債合計は15,410百万円となり、前連結会計年度末の負債合計16,392百万円と比べ982百万円減少しました。これは主に、短期借入金が300百万円、長期借入金が655百万円減少したことなどによるものです。

解説 ③ 当中間連結会計期間末の純資産合計は5,026百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,736百万円と比べ290百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が151百万円、その他の包括利益累計額が111百万円増加したことなどによるものです。

Business / 事業紹介



再生可能エネルギー事業

発電電力の売電

売上高

966 百万円 

(前年同期比3.3%減)

EBITDA

824 百万円 

(前年同期比3.4%減)



移動体通信機器販売関連事業

ソフトバンクショップ代理店

売上高

5,993 百万円 

(前年同期比9.0%増)

EBITDA

251 百万円 

(前年同期比13.2%減)



保険代理店事業

保険コンサル提案

売上高

276 百万円 

(前年同期比1.0%減)

EBITDA

△18 百万円 

(前年同期差額△4百万円)



葬祭事業

葬儀会館「ティア」運営

売上高

546 百万円 

(前年同期比0.7%減)

EBITDA

132 百万円 

(前年同期比1.2%減)



不動産賃貸・管理事業

大型立体駐車場運営

売上高

33 百万円 

(前年同期比3.7%増)

EBITDA

18 百万円 

(前年同期比0.1%減)



ビジネスソリューション事業

BtoB ビジネスのプラットフォーム

売上高

419 百万円 

(前年同期比49.6%増)

EBITDA

67 百万円 

(前年同期比478.6%増)

[事業会社]

株式会社サカイホールディングス、エスケーアイ開発株式会社

全国15ヶ所・合計設備容量約49.4MWの太陽光発電所を所有・運営しております。日射量や自然災害によるリスクを考慮し、全国6地域に幅広く展開するとともに、自社エンジニアによるO&M(運転管理・保守点検管理)により、不稼働ロスを最小限に抑えた安定稼働を実現しております。

[事業会社]

株式会社エスケーアイ

東海エリアを代表するソフトバンクショップ代理店です。店舗のドミナント化を進めており、2025年3月末現在、愛知、静岡、神奈川の3県に全体の約90%の店舗を集中させ、近隣店舗間の連携による高い業務効率化を実現しております。半期ごとに行われるソフトバンク代理店大会にて、代理店史上初の5期連続総合第1位を獲得。全国トップクラスの代理店へ成長しています。

[事業会社]

株式会社セントラルパートナーズ

コールセンターによるテレマーケティングを中心に、対面・オンラインなどでお客様のニーズに合わせた保険のコンサル提案を展開しております。医療・介護などの第三分野を主力に、生命保険・損害保険を幅広く取り扱うことで、お客様の様々なご要望やライフプランに対応しております。今期から新たに大阪支店を開設し、更なる事業拡大を図ってまいります。

[事業会社]

エスケーアイマネジメント株式会社

株式会社ティアと業務提携し、愛知県の知多エリアおよび西三河エリアで8会館を運営しております。社会情勢が変化するなか、経験豊富な葬祭ディレクターをすべての会館に配置し、お客様のお気持ちに寄り添い、満足度の高い葬儀のお手伝いをしております。さらに、昨期から今期にかけては、搬送業務ならびに接客要員における委託業務の一部を内製化し、より効率的な業務運営が行える環境を整えております。

[事業会社]

エスケーアイ開発株式会社

名古屋市千種区で地域最大級の大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を運営・管理しています。近隣の商業施設をご利用のお客様をはじめ、多くの方にご利用いただいております。

[事業会社]

株式会社エスケーアイ

BtoBビジネスのプラットフォームとして、DX化の需要の高まりを背景に、携帯電話と光回線サービスを中心に法人のお客様の業務効率化、コスト削減に関するコンサル営業を展開しております。今期からは営業範囲を静岡県まで広げ、更なる事業拡大を図ってまいります。

福利厚生の拡充

当社グループでは、従業員一人ひとりが安心して長く働ける環境づくりを目指し、福利厚生の更なる拡充を進めています。

1. 奨学金返還支援制度の導入

株式会社エスケーアイでは、店舗で勤務する社員を対象とした「奨学金返還支援制度」を導入しています。本制度は、日本学生支援機構の奨学金返還義務のある社員に、年間最大12万円を最長10年間にわたり代理返還するもので、若手社員の経済的・心理的負担を軽減し、安心して就業できる環境を整えるとともに、優秀な人材確保につなげることを目的としています。

2. 食の福利厚生サービス「チケットレストラン」の導入

従業員の健康増進と働きやすい職場環境の実現を目的として、株式会社エデンレッドジャパンが提供する食の福利厚生サービス「チケットレストラン」を導入しています。「チケットレストラン」は、全国25万店舗以上の飲食店やコンビニエンスストアなどで利用できる電子食事カード型の食事補助サービスです。勤務場所や働き方に拘らず利用できるため、ランチの選択肢が広がります。これにより、従業員の健康増進と満足度向上を目指しています。

3. 育児短時間勤務の期間延長

従来の制度では、子どもが3歳になるまでとしていた育児短時間勤務の適用期間を、子どもが小学1年生の9月末日まで延長しました。これにより、仕事と育児の両立をより一層サポートできる体制を目指します。

4. ベビーシッター利用割引券の導入

ベビーシッター利用時の費用負担を軽減するため、新たに割引券制度を導入しました。本制度により、残業や休日出勤時など、従業員が安心して子どもを預けられる環境を整備します。

上記の制度に加え、当社グループ独自制度である「パパママコンシェルジュ」により、産休育休制度に関する知識サポート、休暇中の手続きサポート、職場復帰後の現場サポート等で産休育休の「取得前から復帰後まで」しっかりと相談できる環境を整えております。

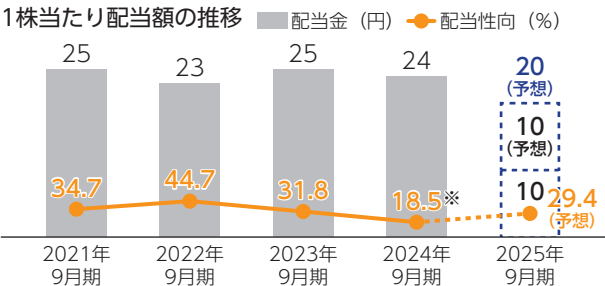
※一部グループ会社除きます。

To Shareholder / 株主還元

配当の状況

当第2四半期における中間配当金は、公表のとおり1株当たり10円といたしました。なお、期末配当金は1株当たり10円とさせていただきます方針です。

今後も、配当性向30%以上を基本とし安定配当を継続するとともに、健全性、収益性とのバランスや成長投資の機会を考慮しつつ、株主還元の拡充に取り組んでまいります。



※親会社株主に帰属する当期純利益から投資有価証券売却益等の特殊要因を除いて計算した配当性向は30.2%となります。

Company Information / 会社概要・株式の状況 (2025年3月31日現在)

会社概要

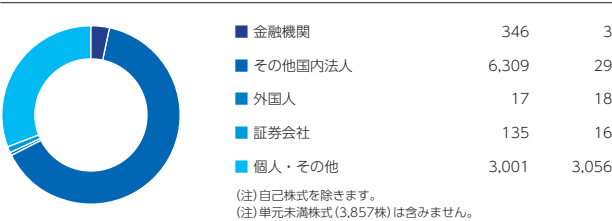
会 社 名	株式会社サカイホールディングス
設 立	1991年3月
資 本 金	7億4,741万円
本 社	愛知県名古屋市中区千代田五丁目21番20号
従 業 員 数 (連 結)	518人 (契約社員等含む)
事 業 内 容	再生可能エネルギー事業、 グループ企業の経営管理
I R 問 合 せ 先	E-mail : info-c@sakai-holdings.co.jp

株式の状況

発 行 可 能 株 式 総 数	40,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	10,956,500株
株 主 数	3,123名

株式分布状況

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
基準日	毎年9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://sakai-holdings.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行う。)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。
(よくあるご質問 (FAQ))
https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。) を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記のお問合せ先をお願いいたします。

株式会社サカイホールディングス

〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目21番20号
TEL.052-262-4499

HPのご案内



<https://sakai-holdings.co.jp/>



本冊子は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。
また、環境に配慮した用紙、インキを使用しています。